



| | |
|--------------|---|
| Title | 「低温中級技術シリーズ」欄の発足について |
| Author(s) | 山本, 雅彦 |
| Citation | 大阪大学低温センターだより. 1980, 32, p. 18-21 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/4557 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「低温中級技術シリーズ」欄の発足について

この欄の誕生は編集委員会の席で、「低温を扱う研究に新しく参加する学生・院生を対象にした低温技術の記事が連載されると便利だが……」という話しがきっかけになった。しかしながら低温技術の教科書を作ることはこの小冊子の役割を越えている。といって現在出ている低温関係の参考書を読んでもなかなかピンとこないという怨みもある。さいわい阪大における低温を実際に使って実験を進めている研究者の数は他大学に比べて殊に多數である。利用度の高い低温技術の項目を選んで、実際に実験を行っている方々に執筆をお願いし、毎回継続的な欄を作つてみてはということに意見がまとまった。

低温技術の利用は物理、化学、生物、工学、医学と非常に広範囲に亘っている。他方先進的な技術の開発もどんどん進められている。研究者は利用価値の高い技術を導入して研究を発展させたいと、虎視眈眈と野心を燃しているわけで、この欄が低温技術に関し先達と野心家の橋渡しになることを希望している。記事は単なる知識ではなく、自からの体験を中心にノウハウを書いていただくことによって密度は高いものになると期待している。その代り、あらゆる項目を網羅するというわけにはいかないかもしれません。当面、ヘリウム液面計、温度測定、温度制御、クライオスタット等を項目に考えている。提案、意見があれば編集委員迄お聞かせ願えれば有り難い。

なお、従来からの「技術ノート」は、特殊技術、オリジナルな研究を載せる欄として続けられる。併せて宜しくお願ひする。

編集委員長 長谷田 泰一郎 (基工)

企画専門委員 大山 忠司 (教養)

岡田 東一 (工)

西田 良男 (基工)

吉田 立 (低温C 豊中)

山本 純也 (低温C 吹田)